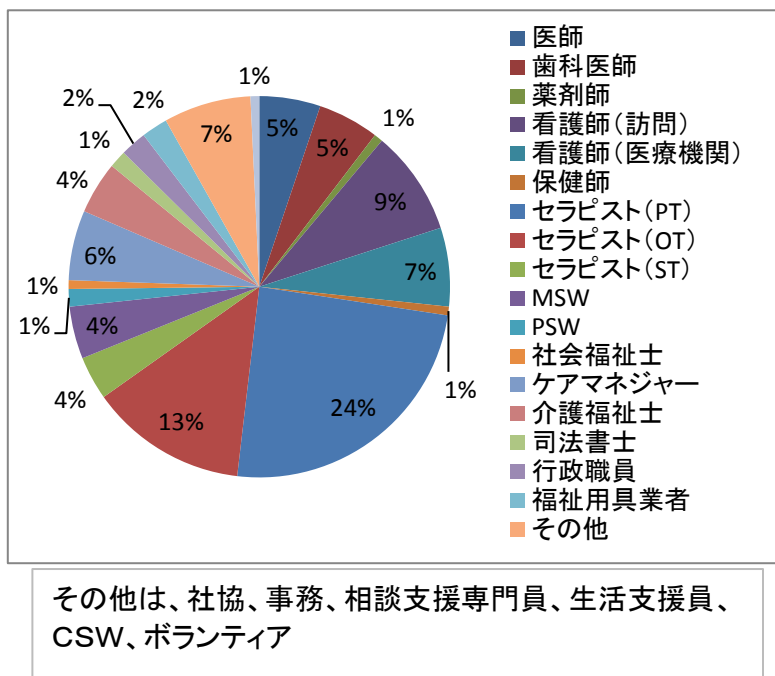


平成29年度第3回福岡東在宅ケアネットワーク・東区医師会・東区保健福祉センター共催
多職種連携研修会 アンケート結果

日 時 平成29年10月16日(月) 18時30分～20時30分
場 所 福岡リーセントホテル 2階 レインボーホール
出席者 154名
アンケート回答者 135名

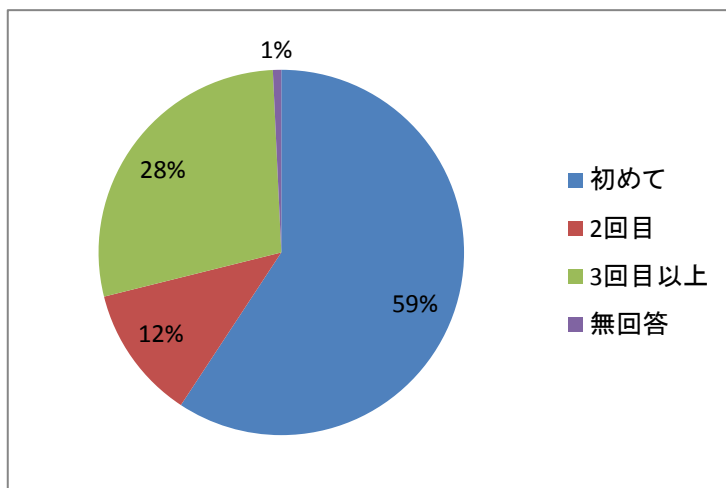
1. あなたの職種を教えてください。

医師	7	5%
歯科医師	7	5%
薬剤師	1	1%
看護師(訪問)	12	9%
看護師(医療機関)	9	7%
保健師	1	1%
セラピスト(PT)	33	24%
セラピスト(OT)	18	13%
セラピスト(ST)	5	4%
MSW	6	4%
PSW	2	1%
社会福祉士	1	1%
ケアマネジャー	8	6%
介護福祉士	6	4%
司法書士	2	1%
行政職員	3	2%
福祉用具業者	3	2%
その他	10	7%
無回答	1	1%



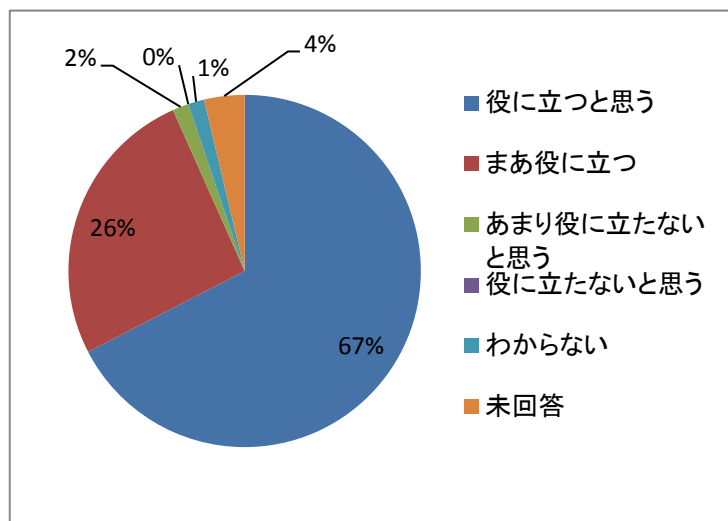
2. 当ネットワークが主催する研修会への参加は、何回目ですか？

初めて	80	59%
2回目	16	12%
3回目以上	38	28%
無回答	1	1%



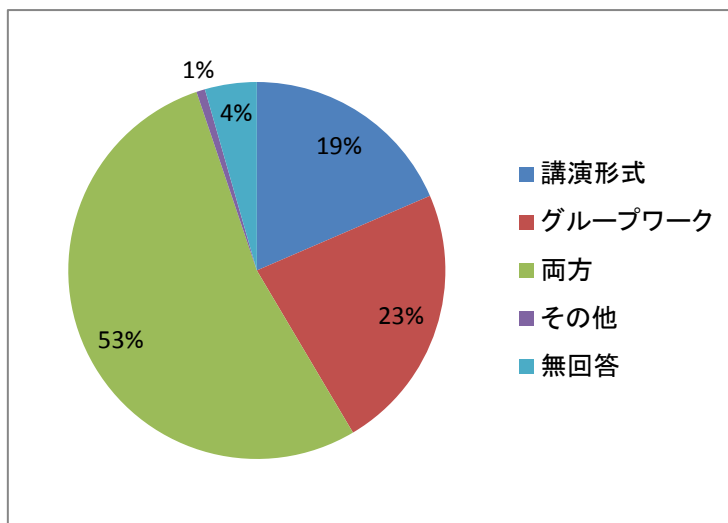
3. 今回の事例は、今後の業務に役立ちそうですか？

役に立つと思う	91	67%
まあ役に立つ	35	26%
あまり役に立たないと思う	2	1%
役に立たないと思う	0	0%
わからない	2	1%
未回答	5	4%



4. 研修会の形態についてご希望を回答ください。

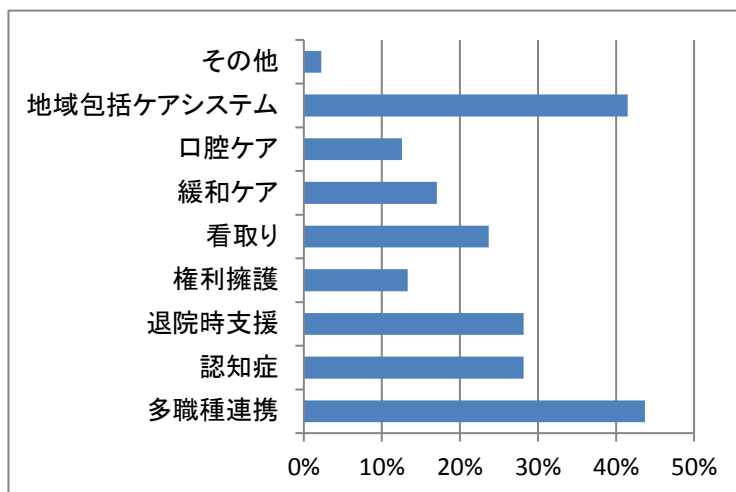
講演形式	25	19%
グループワーク	31	23%
両方	72	53%
その他	1	1%
無回答	6	4%



5. 今後、取り上げて欲しいテーマについてご回答下さい。(複数選択可)

多職種連携	59	44%
認知症	38	28%
退院時支援	38	28%
権利擁護	18	13%
看取り	32	24%
緩和ケア	23	17%
口腔ケア	17	13%
地域包括ケアシステム	56	41%
その他	3	2%

- ・地域での認知症の取り組み
- ・発達障害
- ・目標指向リハ
- ・入退院の医療介護連携
- ・アル中、精神疾患患者へのアプローチ
- ・高次脳機能障害・失語症の支援



6. 感想等を自由にご記入ください。(開催病院の印象など)

1	上肢の麻痺があれば必ず口腔ケアの必要が出てくると思います。各期のリハビリのプログラムに必ず組み入れるべきだと思います。
2	リハビリのことをこんなに意識して考えた事が無かった。今回、病院セラピストと在宅セラピストとの連携がはかれてよかったと思う。視点を変えて生活を支えていくことが連携だと思う。第2回第3回と続けて欲しい。
3	型にはまったリハビリでは本人の力は引き出せないことが理解できた。本人の行動変容が見られることを喜びに、多角的なアプローチが必要だと学んだ。
4	最初は盛りたくさんと思いましたが、とても良かったです。入院→在宅→終末と連動して考えること、リハビリの講義、とても良かったです。
5	初めて参加しましたが様々な職種の方とディスカッションでき良かったと思います。ありがとうございました。
6	リハビリがOTやPTだけのものではなく、他職種との連携の上で成り立つものだと考えさせられました。
7	多職種連携の重要性がとてもわかりやすかったです。
8	今回初めて参加しましたが色々な職種の意見が聞け、地域に働く人の顔が見れて良かったです。
9	社会資源を活用した症例検討
10	とても興味がある議題でした。いつどのように進めていくのがいいのか、しっかり多職種で話していけたらいいと思います。時間が短くて少し残念でした。(せっかくだからPTOTの方々ともっと話したかったです)
11	とても良い研修会でした。参加して良かったです。実行委員の方々、お疲れ様でした。
12	大変勉強になりました。今後の仕事に役立てたいと思います。
13	色々な方の意見が聞けて良かったです。また参加します。
14	グループワークの時間がもう少し長いほうが良かった。リハについてもっと聞きたかった。新しい形式で楽しかった。

15	初めて参加させていただきました。様々な角度から意見を聴く事ができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。
16	初めて参加させていただいた。グループワークの時間などもう少し時間をとってほしかったが、短い時間の中でも有意義に出来たと思います。
17	グループワークでは話をする時間が短い、前もって資料(症例)があればもう少しアイデアが出たかもしれません。
18	グループワークの時間が短すぎて十分に話し合いができなかった、反面、短時間ですという気持ちで意見を出すタイミングは早くて、これも有りかなとも思う。・内容が盛りだくさんで刺激になった。・事例を3時期に分けて検討したのはポイントが絞られてよかった。・各グループの発表を聞くことは色々な気づきがあって良かったが、長くなりすぎて少し間延びしたように思う。数グループが発表する等で発表時間を短縮しても良いと思います。グループ内で互いの意見を出し合うことが自分の知らない分野の情報提供・収集になるのではと考えます。
19	大変役に立ちました。
20	もう少し症例検討の時間を長くして頂きたいと思ってましたが、予想以上に多くの発表があり驚きました。
21	どうしても形式にはまった形で進めていくことが増えるため、改めて考える機会が得られたこと自体が有意義でした。
22	タイムスケジュールが詰め込みすぎてルールを理解するのに苦労した。
23	遅れての参加でグループワークに入れなかったため、流れに乗りそこねました。
24	リハスタッフと直接顔を合わせる機会はそれほどなくいい機会を頂き、ありがとうございました。またインフォーマルな部分と専門職のネットワーク等の連携を視野に入れていきたいと思います。
25	職場では関わる事ができない職種の方の意見を聞く事ができ、参考になりました。
26	グループ別症例検討:時間が短すぎたと思う。自己紹介もきちんとできず、メンバー全員が発言できなかった。もう少し色々な意見を聞きたかった。 勉強不足:医療的な専門用語が出てくると、何を意味しているのかさっぱり分からず、本人がどういう状態なのか理解することが難しかった。
27	興味深い研修会となりました。
28	症例を見てきた人、見てない人。見たけれども何を検討するか把握できていない方が見受けられた。グループワークにおいては、どんな話し合いをしてほしいのか共有しておくともっと良いスタートがきれたのではないかな。
29	リハビリについての理解や役割の発揮はまだ十分ではないと感じました。リハにとっても在宅ケアとしても、まだまだ挑戦であり、やるべきこと、学ぶべきことはもっとあると思います。
30	初めての参加でしたが分からない言葉も多く今後勉強していきたいと思いました。歯科からのアプローチはまだまだ足りておらず、努力が必要ということを改めて認識致しました。
31	一つの症例で入院期・生活期・終末期のグループワークができ、他グループの発表を聞けて、とても参考になりました。色々な症例があり、面白かったです。模擬カンファレンスもいろんな立場の方の話を聴けて良かったです。
32	様々な職種の強み、プロフェッショナルを感じる事ができた。
33	テーマは少ないほうがやりやすい。考える時間がもう少し必要では？
34	色々と視野を広げる意味でも大変有意義でした。
35	一所懸命お話を聞かせて頂きましたが、テンポについていけず無念でした。グループワークの半分も理解できたか自信がありません。勉強不足はもちろんですが医療ベースの専門用語が資料の中、話の中であまりに多かったことが理解が難しかった原因です。「言語が違う」と感じました。多職種連携を進めるには、まずは共通言語で話が出来るような各自の勉強と、場や資料の工夫、歩み寄りが必要だと思います。
36	症例検討はとても役に立つものでいろんな職種の方の考えがわかり、今後のケアに生かせる内容でした。ただ時間が・・・夕食も食べれずお腹がすいた状態での研修はつらいです。

37	グループワークの時間が短かったのでまとめるのが大変でした。もう少し時間の余裕があれば良かったかなと思います。
38	症例数が多く色々なケースの検討ができて良かったが、読み込む時間、検討し話し合う時間が少なかった様に感じました。あと職場が遠いので可能であれば、もう少し開始時間が遅いとありがたいです。
39	問題点に対して各分野から何ができるのかを提案。誰に聞いたらいいのか、どこに相談すればいいのかがわかる研修会を希望します。
40	参考になりました。ありがとうございました。
41	最初の段階で今後の問題点をある程度把握しながら何が出来るのかを考えるのが難しかった。問題点の見方、その人との関わり方について考えることが出来、参考になりました。
42	急ぎ足だった。グループワークの時間が短くなってしまった。
43	他の職種の意見をグループワークを通じて初めて見るケースで打ち合わせ無しで、行うこと事ができ、聞くことが出来たことが新鮮でよかったです。
44	他職種の方々と意見をかわせて自分に持っていない考えが聞けてよかった。まだまだ勉強が必要だと思った(サービスや制度の知識があまいと思った)
45	多職種でディスカッションすることは様々な意見が出てとても勉強になった。発表者等も決まっていて、スムーズに話し合いができました。
46	症例1～3あって入院期・生活期・終末期に分けてのグループワークはすごく勉強になりました。色々な提案や考えなどあって、考えられなかった事なども発表を聞くとなるほどと思うこともあり、色々勉強になりました。ありがとうございました。
47	グループディスカッションの時間はさすがにもう少し欲しい。模擬カンファレンスは・・・。
48	できることなら、開始時間を19:00～にして頂きたい。診療時間が19:30までなので。
49	退院時支援について、いかに院内の職員を巻き込んでいくか院内の職員をいかに在宅に眼を向けさせていくかに苦労していますが、院内職員も巻き込んで、こういう場に積極的に参加していくことも大切だと思っています。ありがとうございました。
50	介護施設では生活リハビリが中心となって、具体的なリハビリはおこなっていません。リハビリをしたいという利用者の方に何を提供していいかわからないことがあります。簡単に誰にでもできるリハビリを教えてほしい。
51	本日は遅刻しカンファレンスに参加できず残念でした。また発表に当たっていたにも関わらず、役割を果たせず申し訳ありません。しかし、発表を聞いてよい話が出ていたことがよくわかりました。
52	症例検討で事例を通し他職種の方々と交流でき、勉強になりました。今後、訪問看護・ボランティア活動のために参加させていただきたいと思いました。まだ発表や司会は出来ませんが・・・今後ともよろしくお願い致します。ありがとうございました。
53	開始時間を19:30～ぐらいにしてほしいです。
54	まだ介護領域での経験が少ないので、これから色々学んでいきたいと思っています。
55	実際の症例から多職種のグループで検討していく過程が大変勉強になりました。それぞれのグループの意見もとても勉強になりました。今後のケアマネの仕事に活用していきたいと思っています。
56	書記を担当したので、ゆっくりと話を聞けなかった。
57	かなりよく練られた内容と感服しました。しかしあまりにもボリュームが多く、不完全燃焼になった感は否めません。講義形式が2つ、模擬カンファが1つ、症例検討が3つを2巡では不可能と思います。個人的には症例検討会のみを、もっと長時間やったほうがよいかなと思います。もっとリハビリの話を知りたい(症例検討会で)のに残念でした。
58	症例検討、情報が少なくグループワークの時間が短い。
59	多職種で集まる機会は、なかなか得られないのでグループワーク等をもっと時間をいただきたいと感じました。貴重な時間をありがとうございます。
60	今後の患者様の生活の支援など、とても勉強になりました。

61	グループワークに時間をとっていただけるともっと多職種の意見を交換でき、勉強になるのではないかと思います。
62	改めて色々考えることが出来ました。年々考え方が型にはまり、頭が固くなる事が多くなってきていたもので、色々な視野からの考えは勉強になりました。ありがとうございました。
63	視野がひろがった。リハビリはPT、OT、STだけではないという事を実感した。
64	今後の臨床に活かしていきます。
65	リハビリテーションをキーワードに入院・生活・終末のそれぞれのステージをグループワークを通じて学びを深めることができました。
66	それぞれの立場の異なる方の意見をうかがう事ができて良かったです。連携から協働へ動き出した気がします。今まで退院的支援とか入院時カンファ等、点の部分のことが多かったと思いますが、本人の人生を長く見据えた意見交換ができて良かったと思います。